

企業の底堅い設備投資需要やIT投資意欲の高まりを背景に 2026/3期Q1は増収、営業利益・経常利益も増益

Q1 Flash



決算サマリー

日東工業(以下、同社)は8月4日の引け後に2026/3期のQ1決算を発表した。企業の底堅い設備投資需要やIT投資意欲の高まりを背景に、各セグメントがそれぞれ増収となった。連結ベースの売上高は前年同期比8.0%増の41,842百万円となり、営業利益1,854百万円(同15.8%増)、経常利益2,033百万円(同1.9%増)は増益となった。親会社株主に帰属する四半期純利益(以下、当期純利益)は929百万円の同74.9%減となったが、前年同期に計上した負ののれん発生益2,665百万円(昨年4月に連結子会社化したテンパール工業の株式取得に伴うもの)の剥落による影響が大きい。

事業別概要

電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業は、売上高26,002百万円(同5.7%増)、セグメント利益(営業利益)1,142百万円(同9.3%減)となった。配電盤部門は高圧受電設備の売上増により同10.6%の増収となった。キャビネット部門は昨年4月の価格改定に伴う駆け込み需要の反動減で同0.4%の減収となった。遮断器・開閉器・パーツ・その他部門は熱関連機器の売上増により同0.4%の増収となったが、工事・サービス部門が前期に計上した大型案件の反動減で同11.0%の減収となった。

電気・情報インフラ関連 流通事業は、売上高12,072百万円(同13.2%増)、セグメント利益(営業利益)349百万円(同109.5%増)となった。企業におけるIT投資意欲の高まりに伴い映像ソリューション分野を中心にネットワーク部材の売上増が要因である。

電子部品関連 製造事業は、売上高3,767百万円(同8.0%増)、セグメント利益(営業利益)325百万円(同126.7%増)となった。国内自動車市場における案件獲得やエアコン関連市場の需要に持ち直しがみられたことが要因である。

2026/3期 通期業績予想

5月の2025/3期通期決算発表時の予想からの変更はない。売上高192,000百万円(同4.0%増)、営業利益13,600百万円(同1.2%増)、経常利益13,600百万円(同0.6%増)、当期純利益9,400百万円(同22.3%減)を見込んでいる。SIRでは取材後にフォローアップレポートを発行する予定である。

決算期	売上高 (百万円)	YoY (%)	営業利益 (百万円)	YoY (%)	経常利益 (百万円)	YoY (%)	当期純利益 (百万円)	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2022/3期	132,735	-3.7	8,637	-30.0	9,412	-25.7	6,607	-25.1	164.75	50.00
2023/3期	146,698	10.5	8,172	-5.4	9,056	-3.8	5,479	-17.1	144.45	145.00
2024/3期	160,709	9.6	11,967	46.4	12,566	38.8	8,715	59.1	229.77	230.00
2025/3期	184,683	14.9	13,432	12.2	13,516	7.6	12,097	38.8	318.91	160.00
2026/3期(会予)	192,000	4.0	13,600	1.2	13,600	0.6	9,400	-22.3	247.80	124.00
2025/3期Q1	38,742	12.6	1,601	-9.6	1,996	-2.6	3,704	167.8	97.67	--
2026/3期Q1	41,842	8.0	1,854	15.8	2,033	1.9	929	-74.9	24.49	--

出所: 同社決算短信よりSIR作成

注: SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

アナリスト 大下敬勇

research@sessapartners.co.jp



本レポートは日東工業株式会社からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレマーをご覧ください。

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp